

超低温 低GWP値 1357 R23 代替新冷媒「R469A」採用



⚠ 安全に関するご注意

- このカタログに掲載の製品は屋内専用です。雨水のかからないところでご使用ください。
- 据え付け工事、電気工事、給排水工事などが必要な場合があります。
- お買い上げの販売店または資格のある専門業者にご相談ください。
- エーテル・ベンジン・アルコール・ライターのボンベなどの揮発性、引火性のあるものは庫内に入れないでください。爆発する危険があります。
- 食品の一時保存用としてご使用ください。目的以外の用途で使用すると、内容品の品質低下などの原因になることがあります。
- 一定の条件において修理をいたしますが、内容物についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

製造元

株式会社 カノウ冷機

〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 5658-1

TEL: 046-280-6081

E-mail : info@kanoureiki.com

URL : <https://www.kanoureiki.com/>



お問合せ先・販売元

※予告なく仕様の一部を変更することがあります。

<https://www.kanoureiki.com/>

独Weisstechnik社が開発した 次世代の新冷媒「R469A」

超低温領域で主に使用されているR23(GWP値14800)と比較して、R469AのGWP値は1357と低く、90%以上の削減を実現しています。

欧州Fガス規制に対応し、日本国内に於いてもフロン排出抑制法で2025年の目標とされているGWP値1500以下をクリアしています。

高効率を実現する二元冷凍システム

二元冷凍システムとは、沸点の異なる二種類の冷媒を使った装置で、それぞれの冷媒は独立した冷凍サイクルを循環し、熱交換器により結合した冷凍システムです。

このシステムは-50～-60°Cの超低温を得る場合に採用されます。

一般的に使用されている単一冷媒二段圧縮システムでは冷媒の超低温運転時の特性が悪いため、非常に効率が悪くなってしまいます。そこで温度特性の異なる二種類の冷媒を組み合わせることにより効率アップを実現します。

二段圧縮システムと比較して、以下の利点があります。

- ① 高温側と低温側でそれぞれ温度特性の適した冷媒を使用できるため、省エネとなる。
- ② 安定した超低温運転が可能となる。
- ③ ランニングコストが安い。

二元冷凍装置に使用される冷媒は、高温側は通常使用する冷媒(R404A、R448A等)が用いられ、低温側には低沸点の冷媒であるR23またはR469Aが用いられます。

ユニットクーラータイプ

冷凍機1台あたり1～25坪

-60°C

カノウ冷機のユニットクーラータイプは低温側・高温側ともにスクロール式コンプレッサを採用、安定した運転を行います。ユニットクーラーは-60°Cの超低温域でも実績のあるメーカーのファンモータを採用し、吹き出し側にダンパー、吸込側にフードを備えて効率よくデフロストをおこない庫内温度の上昇を抑え安定した超低温域と省エネを図っています。また、付属のコントロールボックスにデジタル温度調節器、デフロストタイマを内蔵し、お客様の使用条件に合わせた設定を行うことができます。

二元冷凍システムの優れた冷却性能により他方式の冷凍機に比べ小馬力で超低温を実現します。

ユニットクーラータイプ二元冷凍機 10坪での比較

	カノウ冷機二元冷凍機	スクリュー冷凍機	二元冷凍機メリット
冷却温度	-60°C	-55°C	二元冷凍機は10kW程 小さいのに-60°Cと 冷却能力が高い
呼称容量	13.4kW	22.0kW	
ランニングコスト(電気代) 5年	13,500,240円	14,013,480円	
メンテナンスコスト(点検整備) 5年	1,000,000～1,500,000円	4,000,000～5,000,000円	ランニング+メンテナンス 20%程省エネ

□動力基本料金 電力使用量1kW26円を基本にランニングコストの算出を行っております

ランニングコストだけでも

10年間で1,026,480円の経費削減を実現します

無風タイプ

冷凍機1台あたり1～4坪

-60°C

カノウ冷機のプレハブ無風庫用ユニットは送風による食品の乾燥が発生せず、またデフロスト運転もないため庫内の温度変化が生じません。このため二重の意味で食品ロスを抑制できます。無風のため庫内で働く人の身体への負荷を軽減!この点はユーザー様からも高評価を得ております。二元冷凍システムの優れた冷却性能により他方式の冷凍機に比べ小馬力で超低温を実現!

例えば4坪の場合、他社製冷凍機では20馬力で冷却温度は-55°Cだが、カノウ冷機のユニットは8馬力で冷却温度は-60°Cとなり、電気代にして年間約960,000円削減。

この規模の超低温プレハブ庫において約45%省エネという大幅な省エネを実現できるのは国内では唯一、わたしたちカノウ冷機だけです!

無風タイプ二元冷凍機 4坪での比較

	カノウ冷機二元冷凍機	スクロール冷凍機	二元冷凍機メリット
冷却温度	-60°C	-55°C	二元冷凍機は9kW 小さいのに-60°Cと 冷却能力が高い
呼称容量	6.0kW	15.0kW	
ランニングコスト(電気代) 5年	5,577,000円	10,380,240円	
メンテナンスコスト(点検整備) 5年	約1,250,000円	約1,250,000円	ランニング 45%以上省エネ

□動力基本料金 電力使用量1kW26円を基本にランニングコストの算出を行っております

ランニングコストだけでも

10年間で9,606,480円の経費削減を実現します

ユニットクーラータイプ

冷凍機1台あたり 1~25坪

-60°C

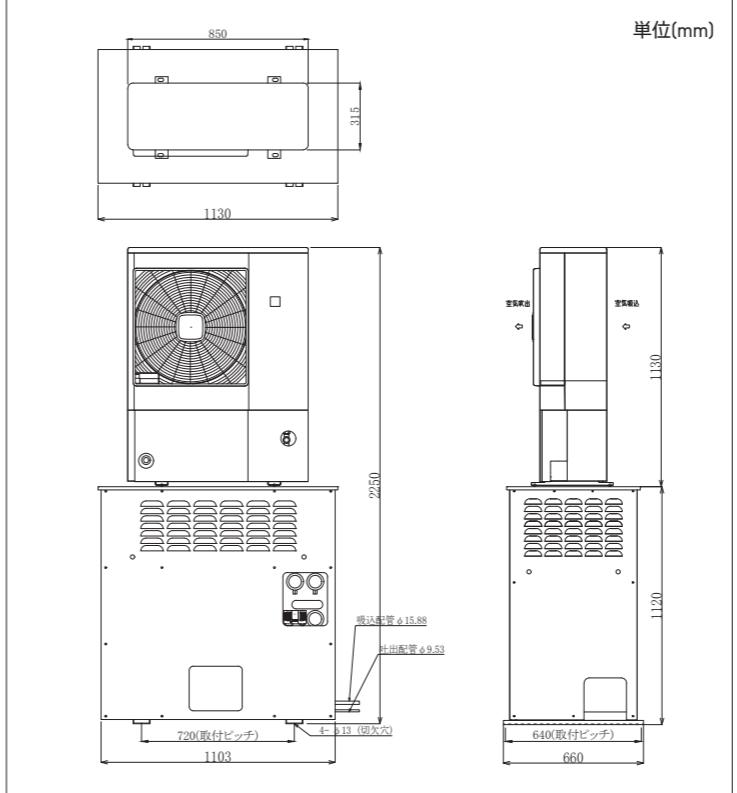


-60°Cのプレハブ庫は、お客様の条件に合わせて計画・設計・製作・施工・そしてお引き渡しいたします。また、冷凍機は二元冷凍システムなので、二段圧縮機と比べると消費電力量が約30%以上低減されます。大量仕入により、コストダウンができる、-60°Cで大量の食材をそのまま長期安定保存ができるようになります。

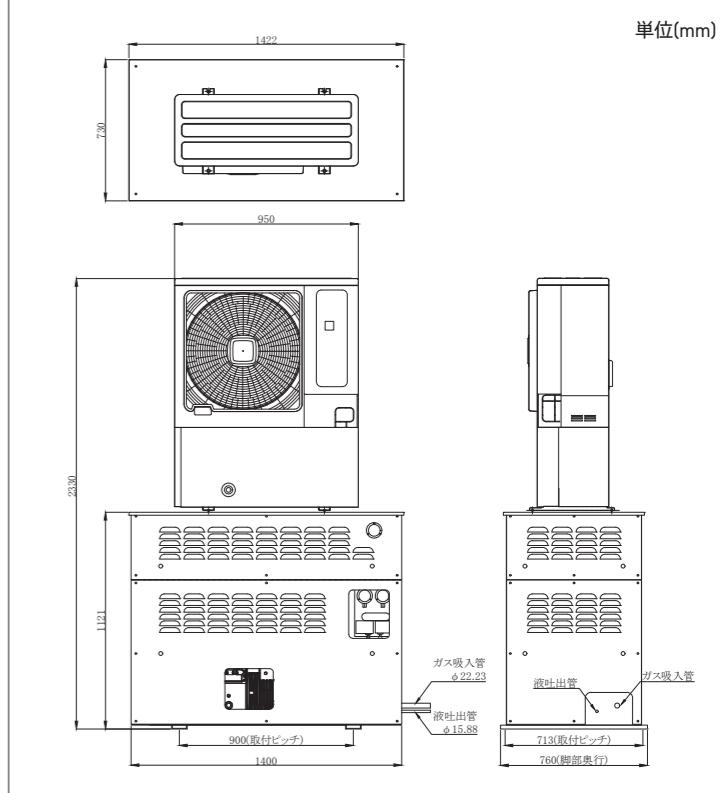
保管庫仕様 ※凍結用途はご相談ください。

型式	KNP1515T	KNP3722T	KNP6037T	KNP7460T	KNP9074T	
電源	三相200V 50/60Hz					
呼称容量	3.0kW	5.9kW	9.7kW	13.4kW	16.4kW	
適用坪数-50°C	1~2坪	3~4坪	5~8坪	9~15坪	16~25坪	
冷媒	高温側：R448A 低温側：R469AまたはR23					
高温側圧縮機	1.5kW	3.7kW	6.0kW	7.4kW	9.0kW	
低温側圧縮機	インバータースクロール					
制御盤	壁掛型(温度警報・機械警報付き)					
冷却器	型式	天吊型(吹き出しダンパー・吸込みフード付き(*1515以外))				
ファンモーター	120Wx2台	75Wx3台	200Wx2台	200Wx3台	400Wx3台	
除霜	電気ヒーター式					
冷媒制御	電子膨張弁					

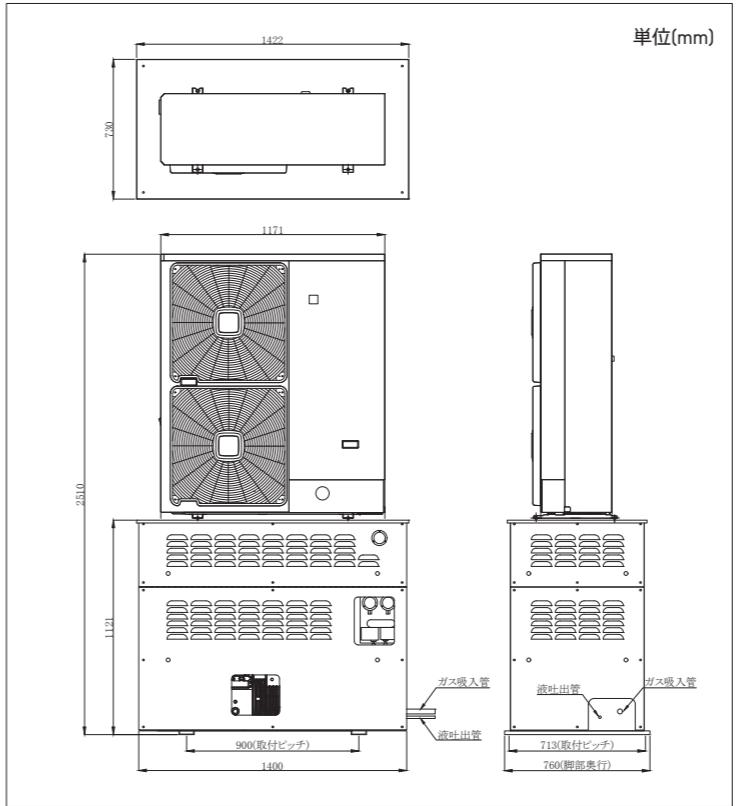
KNP1515T



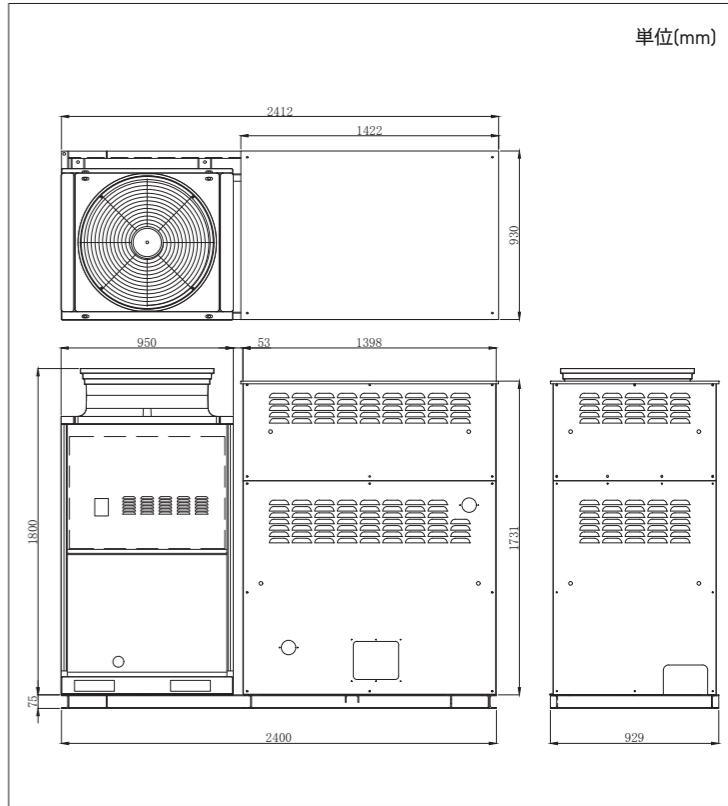
KNP3722T



KNP6037T



KNP7460T / KNP9074T



無風タイプ

冷凍機1台あたり 1~4坪

-60°C

プレハブ庫内の天井壁・側面壁にアルミ波板で保護された冷却パイプを貼り合わせ、庫内の品物を冷却するので、風が無く庫内収納スペースもフル活用できます。



POINT

- 庫内に電気部品がない為、冷凍システムのトラブル減少。
- ユニットクーラーがないので、風道確保の必要がなく、庫内スペースを100%有効活用。
- 電気ヒーター、ホットガスなどにより霜取りがない為、庫内温度変化が少ない。



型式	KNM1515T	KNM2222T	KNM3030T
電源	三相200V 50/60Hz		
呼称容量	3.0kW	4.4kW	6.0kW
適用坪数-50°C	1~2坪		
冷媒	高温側：R448A 低温側：R469A/R23		
高温側圧縮機	1.5kW	2.2kW	3.0kW
インバータースクロール			
低温側圧縮機	1.5kW半密閉	2.2kW半密閉	3.0kW半密閉
制御盤	壁掛型(温度警報・機械警報付き)		
冷却器	パネル式冷却器		

プレハブ庫内に庫内灯以外の電気部品がありません

ヒーター断線等の故障が少ない
メンテナンスコストの削減

ファンの前やクーラーの下に置けない等の制約が無い

庫内スペースをフル活用

無風式のため霜は超微細な氷結晶です

強制霜取が不要
強制霜取による温度上昇が無いため庫内の温度を一定に保てる

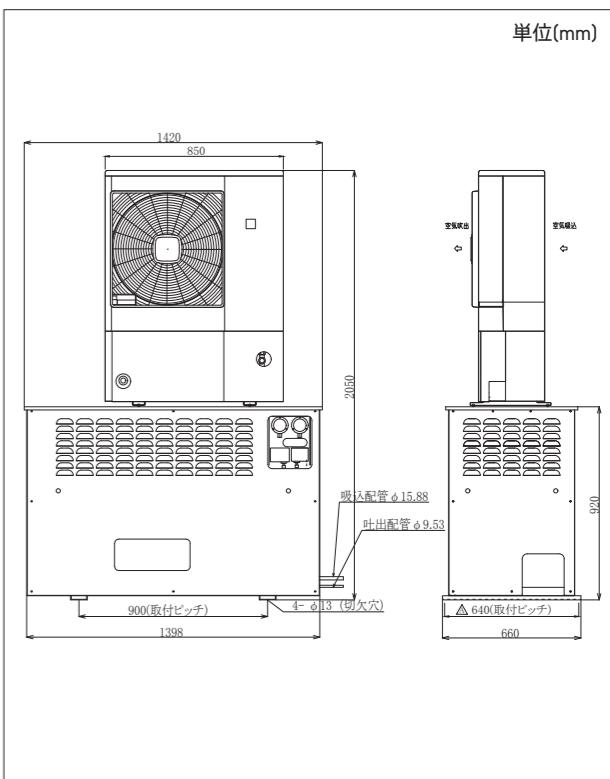
手動による簡単な霜取でOK

メンテナンスの時間短縮

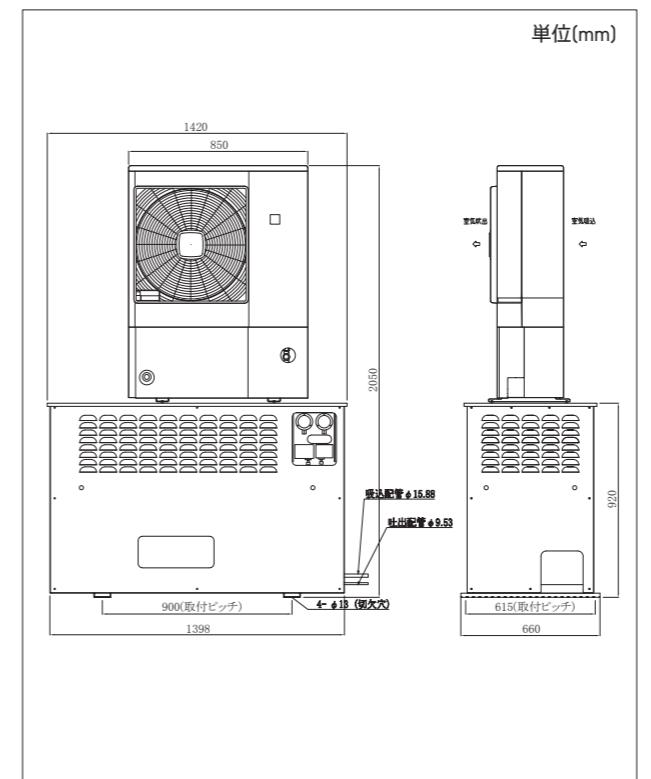
無風式のためファンがありません
壁面からの自然冷却

食材の乾燥を抑えるので歩留がよくなる

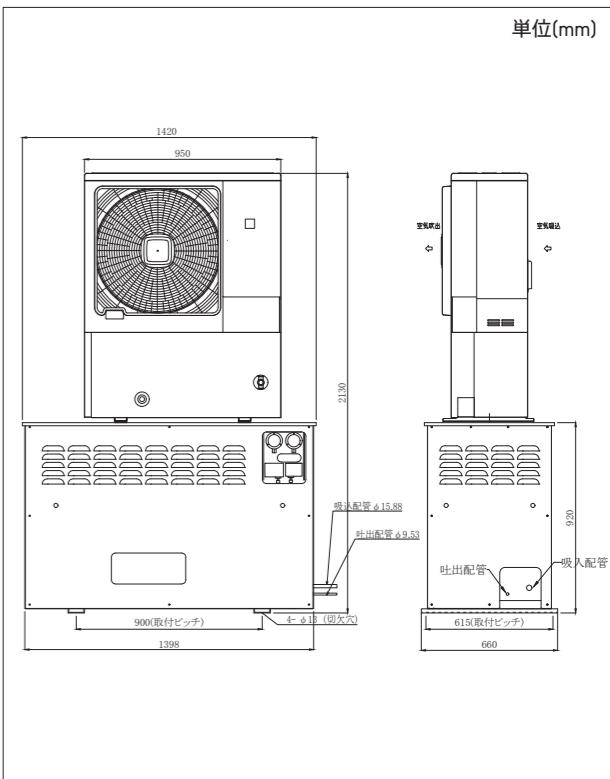
KNM1515T



KNM2222T



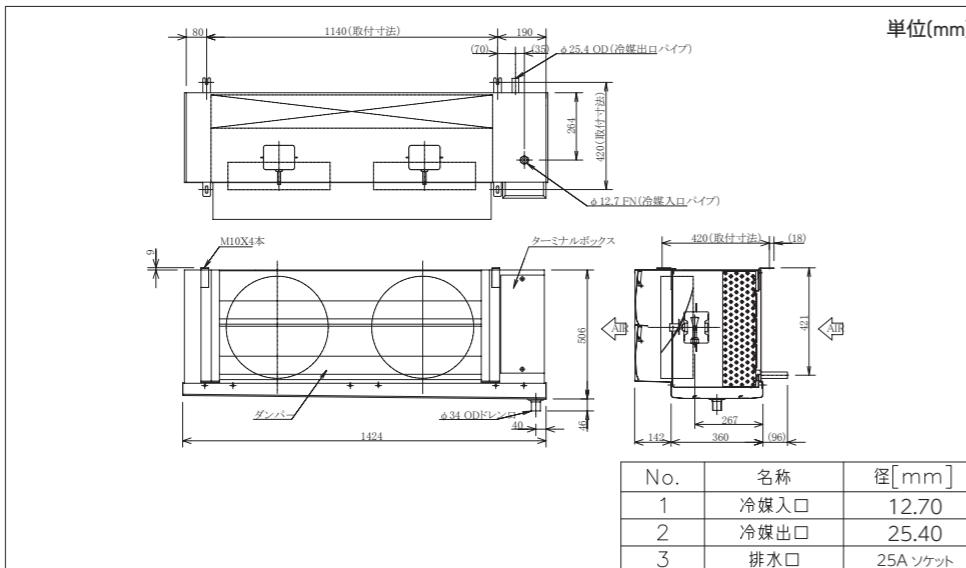
KNM3030T



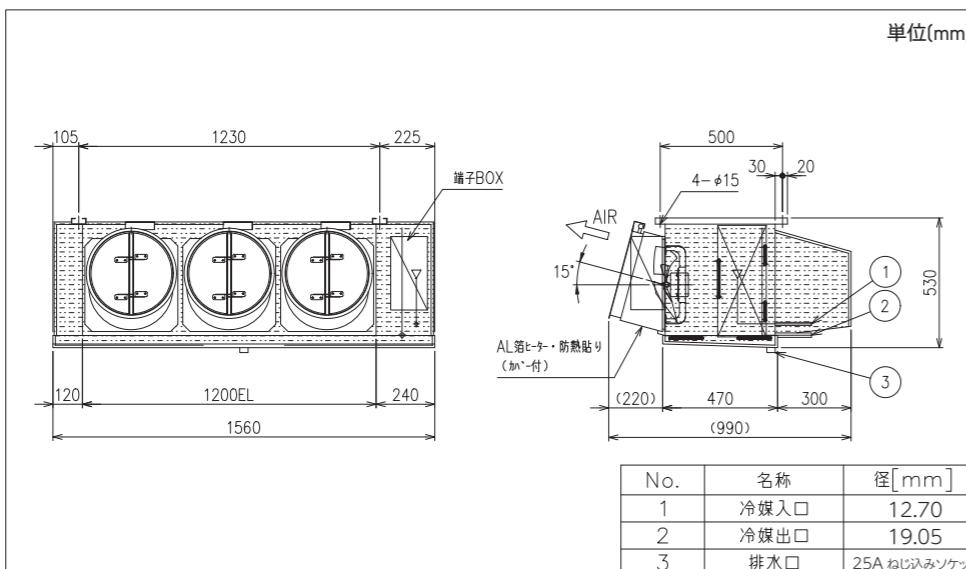
ユニットクーラー外形図

ユニットクーラータイプ

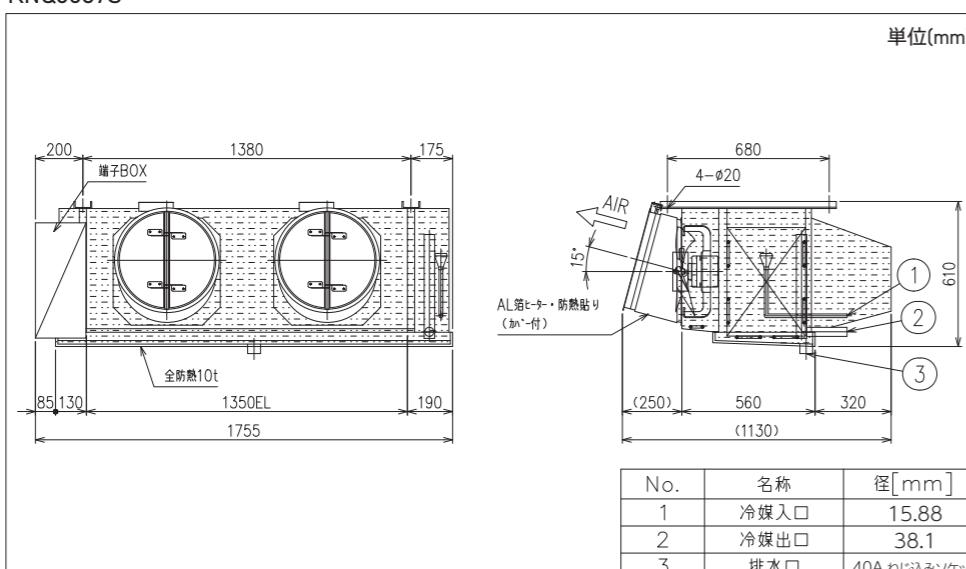
KNQ1515S



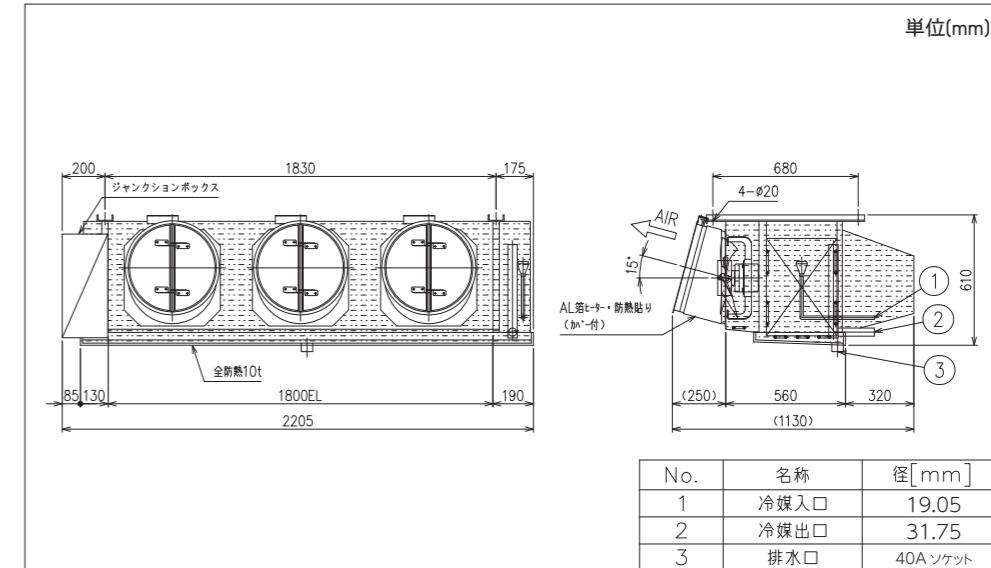
KNQ3722S



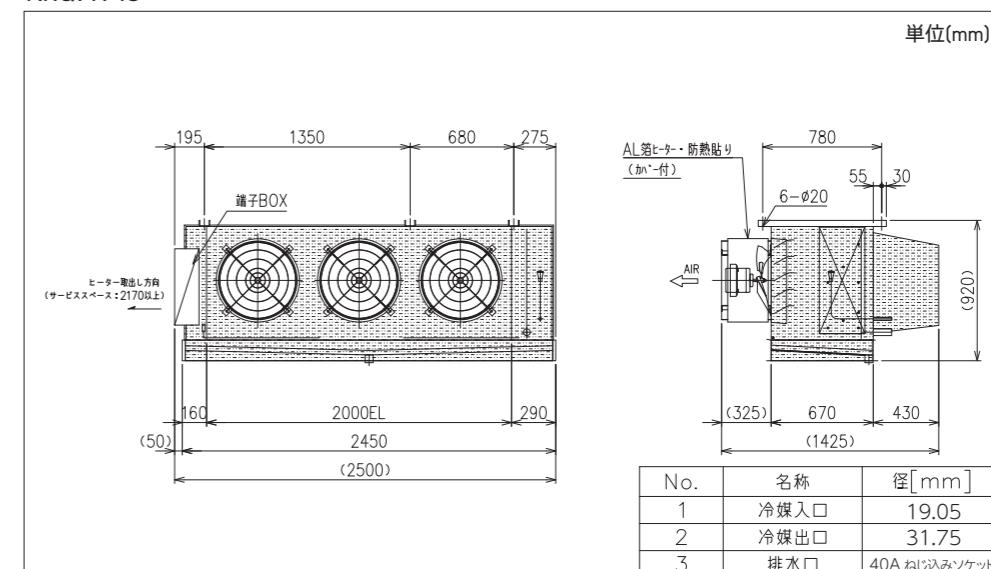
KNQ6037S



KNQ7460S



KNQ9174S



株式会社宮商 金沢営業所様

過剰な電力消費が課題となった 超低温冷凍庫のご相談をいただきました。

株式会社宮商様は高岡市に本社がある北陸地方有数の鮪問屋。以前は2坪超低温庫2棟を、従来10馬力2段圧縮冷凍機×2台で冷却していたため、20馬力を稼動させる過剰な電力消費が課題となっていました。



カノウ冷機の超低温無風庫と 二元ユニットを導入でコストを削減!

石川県の拠点になる金沢営業所へ、カノウ冷機製の無風式超低温ユニット「KNM-2222-S」3台を導入し、10坪の超低温無風庫を新設。また既設2坪超低温庫2棟を、カノウ冷機製無風式二元ユニット「KNM-1515-S」×2台へ。結果、性能を-50°Cから-60°Cへ上げると同時に、必要動力は20馬力から8馬力になりました。性能をアップさせるとともに、大幅なコストを削減を実現しました。

カノウ冷機のプレハブ庫用ユニット(無風) お客様の声

株式会社宮商様

新設して坪数を増やしても電気代が増えなかった

before	他社製 -50°C / 2坪 10馬力	$\times 2\text{台} =$	4坪 20馬力
after	(株)カノウ冷機製 -60°C / 2坪 4馬力	$\times 2\text{台} =$	4坪 8馬力
+ 新設	(株)カノウ冷機製 -60°C / 10坪 6馬力×3台 = 18馬力	10坪	18馬力

消費電力の低減分で
設備の新設

有限会社鮪屋清春様

同じ坪数で電気代が安くなった

before	他社製 -45°C / 12坪 30馬力	\downarrow	ランニングコスト 約40%削減
after	(株)カノウ冷機製 -55°C / 12坪 6馬力×3台 = 18馬力	\downarrow	消費電力の低減で コスト削減